

2014（平成26）年度

計 算 書 類

大阪市西区土佐堀1丁目5番6号
学校法人大阪YMCA

資金収支計算書

2014年 4月 1日から

2015年 3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	1,006,500,000	966,076,532	40,423,468
手数料収入	8,000,000	9,046,842	△ 1,046,842
寄付金収入	0	606,127	△ 606,127
補助金収入	100,900,000	154,158,366	△ 53,258,366
資産運用収入	8,500,000	11,276,880	△ 2,776,880
事業収入	334,600,000	384,669,073	△ 50,069,073
雑収入	100,000	1,197,444	△ 1,097,444
前受金収入	240,000,000	303,637,225	△ 63,637,225
長期借入金収入	0	84,200,000	△ 84,200,000
その他の収入	110,000,000	72,245,822	37,754,178
資金収入調整勘定	△ 288,000,000	△ 319,219,595	31,219,595
前年度繰越支払資金	245,196,386	245,196,386	0
収入の部合計	1,765,796,386	1,913,091,102	△ 147,294,716
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,000,200,000	1,007,945,615	△ 7,745,615
教育研究経費支出	264,500,000	304,183,281	△ 39,683,281
管理経費支出	145,800,000	114,922,738	30,877,262
借入金等返済支出	10,000,000	10,309,623	△ 309,623
施設関係支出	100,000,000	127,204,120	△ 27,204,120
設備関係支出	2,300,000	15,015,632	△ 12,715,632
その他の支出	120,000,000	161,890,538	△ 41,890,538
資金支出調整勘定	△ 160,000,000	△ 140,059,364	△ 19,940,636
支出の部合計	1,765,796,386	1,913,091,102	△ 147,294,716

消費収支計算書

2014年 4月 1日から
2015年 3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,006,500,000	966,076,532	40,423,468
手数料	8,000,000	9,046,842	△ 1,046,842
寄付金	0	606,127	△ 606,127
補助金	100,900,000	154,158,366	△ 53,258,366
資産運用収入	8,500,000	11,276,880	△ 2,776,880
事業収入	334,600,000	384,669,073	△ 50,069,073
雑収入	100,000	1,197,444	△ 1,097,444
帰属収入合計	1,458,600,000	1,527,031,264	△ 68,431,264
基本金組入額合計	0	△ 29,300,000	29,300,000
消費収入の部 合計	1,458,600,000	1,497,731,264	△ 39,131,264
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,000,200,000	1,012,465,067	△ 12,265,067
教育研究経費	348,500,000	400,364,251	△ 51,864,251
管理経費	167,800,000	138,334,168	29,465,832
借入金等利息	0	309,623	△ 309,623
消費支出の部 合計	1,516,500,000	1,551,473,109	△ 34,973,109
当年度消費支出超過額	57,900,000	53,741,845	

貸 借 対 照 表

2015年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	4,033,613,964	4,016,587,923	17,026,041
(有形固定資産)	(3,715,309,375)	(3,691,833,623)	(23,475,752)
(その他の固定資産)	(318,304,589)	(324,754,300)	△ 6,449,711
流 動 資 産	379,512,168	340,634,355	38,877,813
資 産 の 部 合 計	4,413,126,132	4,357,222,278	55,903,854
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	492,915,678	404,196,226	88,719,452
流 動 負 債	413,406,943	421,780,696	△ 8,373,753
負 債 の 部 合 計	906,322,621	825,976,922	80,345,699
基 本 金 の 部			
基本金の部 合計	7,032,725,246	7,003,425,246	29,300,000
消費収支差額の部			
消費収支差額の部合計	△ 3,525,921,735	△ 3,472,179,890	△ 53,741,845
負債の部, 基本金の部及び 消費収支差額の部合計	4,413,126,132	4,357,222,278	55,903,854

資金収支内訳表

2014年4月1日から
2015年3月31日まで

収入の部

学校法人 大阪YMCA

(単位 円)

科 目	部 門	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校			総 額
						専門課程	高等課程	計	
学生生徒等納付金収入		0	245,885,540	205,071,934	239,551,855	174,622,953	100,944,250	275,567,203	966,076,532
手数料収入		0	1,778,000	1,504,082	2,364,010	1,441,450	1,959,300	3,400,750	9,046,842
寄付金収入		0	0	60,000	0	0	546,127	546,127	606,127
補助金収入		0	9,281,000	0	73,341,270	3,135,205	68,400,891	71,536,096	154,158,366
資産運用収入		48,518	0	3,236,920	3,627,170	4,302,720	61,552	4,364,272	11,276,880
事業収入		1,268,250	20,654,200	172,622,005	0	151,500,386	38,624,232	190,124,618	384,669,073
雑収入		115,270	77,883	62,549	81,430	581,494	278,818	860,312	1,197,444
計		1,432,038	277,676,623	382,557,490	318,965,735	335,584,208	210,815,170	546,399,378	1,527,031,264

支出の部

(単位 円)

科 目	部 門	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校			総 額
						専門課程	高等課程	計	
人件費支出		111,002,366	194,596,181	219,554,471	174,732,309	190,422,459	117,637,829	308,060,288	1,007,945,615
教育研究経費支出		0	49,615,944	67,737,404	61,478,863	95,862,732	29,488,338	125,351,070	304,183,281
管理経費支出		28,185,335	13,129,763	15,634,271	24,534,536	19,245,041	14,193,792	33,438,833	114,922,738
借入金等返済支出		509,623	0	800,000	6,000,000	1,800,000	1,200,000	3,000,000	10,309,623
施設関係支出		0	0	0	2,025,000	73,266,725	51,912,395	125,179,120	127,204,120
設備関係支出		717,620	4,060,800	0	10,237,212	0	0	0	15,015,632
計		140,414,944	261,402,688	303,726,146	279,007,920	380,596,957	214,432,354	595,029,311	1,579,581,009

消費収支内訳表

2014年4月1日から
2015年3月31日まで

消費収入の部

学校法人 大阪YMCA

(単位 円)

部 門 科 目	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校	総 額
学生生徒等納付金	0	245,885,540	205,071,934	239,551,855	275,567,203	966,076,532
手数料	0	1,778,000	1,504,082	2,364,010	3,400,750	9,046,842
寄 付 金	0	0	60,000	0	546,127	606,127
補 助 金	0	9,281,000	0	73,341,270	71,536,096	154,158,366
資産運用収入	48,518	0	3,236,920	3,627,170	4,364,272	11,276,880
事 業 収 入	1,268,250	20,654,200	172,622,005	0	190,124,618	384,669,073
雑 収 入	115,270	77,883	62,549	81,430	860,312	1,197,444
帰属収入合計	1,432,038	277,676,623	382,557,490	318,965,735	546,399,378	1,527,031,264
基本金組入額合計	0		0	0	△ 29,300,000	△ 29,300,000
消費収入の部合計	1,432,038	277,676,623	382,557,490	318,965,735	517,099,378	1,497,731,264

消費支出の部

(単位 円)

部 門 科 目	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校	総 額
人 件 費	99,426,894	195,869,681	222,337,907	181,584,429	313,246,156	1,012,465,067
教 育 研 究 経 費	0	59,615,944	75,635,004	86,979,653	178,133,650	400,364,251
管 理 経 費	28,281,035	13,129,763	17,885,771	39,733,946	39,303,653	138,334,168
借入金等利息	309,623	0	0	0	0	309,623
消費支出の部合計	128,017,552	268,615,388	315,858,682	308,298,028	530,683,459	1,551,473,109

学校法人 大阪YMCA

財 産 目 録

(2015年3月31日現在)

I 資産総額		金	4,413,126,132 円
	内 1 基本財産	金	3,548,268,332 円
	2 運用財産	金	864,857,800 円
II 負債総額		金	906,322,621 円
III 正味財産		金	3,506,803,511 円
[1] 資産			
1 基本財産			
(1) 土地			
計			1,088,072,424
(2) 建物			
計			2,451,353,425
(3) 構築物			
計			1,923,703
(4) 図書			
計			2,358,071
(5) 教具・校具及び備品			
計			31
(6) 電話加入権			
計			4,560,678
2 運用財産			
(1) 預金・現金			
ア 預金			
計			300,479,154
イ 現金			
計			11,199,765
(2) 不動産			
ア 土地			
計			2,000,000
イ 建物			
計			148,208,978
(3) 教具・校具及び備品			
計			21,392,743
(4) ソフトウェア			
計			10,953,600
(5) 敷金等			
計			705,890
(6) 未収入金			
計			50,298,687
(7) 前払金			
計			17,534,562
(8) 貸付金			
合計			302,064,421
(9) 出資金			
計			20,000
[2] 負債			
1 固定負債			
(イ) 長期借入金			84,200,000 円
(ロ) 退職給与引当金			408,440,678 円
(ハ) 預り敷金			275,000 円
計			492,915,678 円
2 流動負債			
(イ) 短期借入金			0 円
(ロ) 前受金			303,637,225 円
(ハ) 未払金			53,063,981 円
(ニ) 預り金			56,705,737 円
計			413,406,943 円

平成26年度 事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

学校法人 大阪YMCA

学校法人大阪YMCA 平成26年度 事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

1 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

(1) YMCA学院高等学校

通信制課程(単位制) 総合学科

(2) 大阪YMCA学院

総合日本語学科、実用日本語学科

(3) 大阪YMCA国際専門学校

外国語専門課程

英米語学科、英米語専攻科

日本語学科2年コース、日本語学科1.5年コース

進学日本語学科

ビジネス専門課程

国際ホテル学科、国際ビジネス学科

国際高等課程

国際学科、表現・コミュニケーション学科

教育社会福祉専門課程

スポーツ&ウェルフェア学科、社会体育専攻科

(4) 大阪YMCAインターナショナルスクール

幼稚部、初等部、中等部

2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(1) YMCA学院高等学校

課程	学 科	学則定員
通信制課程(単位制)	総合学科	1,750

(2) 大阪YMCA学院

学 科	学則定員
総合日本語学科(1年コース)	40
総合日本語学科(1年半コース)	40
総合日本語学科(2年コース)	40
実用日本語学科(2年午前コース)	90
実用日本語学科(2年午後コース)	90
合 計	300

(3) 大阪YMCA国際専門学校

課程名	学科名	学則定員
ビジネス専門課程	国際ホテル学科	80
	国際ビジネス学科	80
国際高等課程	国際学科	90
	表現・コミュニケーション学科	90
外国語専門課程	英米語学科	40
	英米語専攻科	25
	日本語学科2年コース	140
	日本語学科1.5年コース	100
	進学日本語学科	60
教育社会福祉 専門課程	スポーツ&ウエルフェア学科	80
	社会体育専攻科	20
小 計		805
ビジネス専門課程	国際ビジネス科Ⅱ部	200
小 計		200
合 計		1,005

(4) 大阪YMCAインターナショナルスクール

学科	学則定員
幼稚園部	60
初等部	125
中等部	60
合 計	245

3 役員・教職員の人数（平成26年5月1日現在）

(1) 役 員

理事 9人（うち、理事長1人、常勤理事4人）

監事 3人（うち、常勤監事0人）

(2) 教 員

YMCA学院高等学校

	専 任			非常勤 講 師	任期制 助 手	合 計
	教 員	助 手	計			
通信制課程	18	0	18	119	0	137

大阪YMCA学院

	専 任			非常勤 講 師	任期制 助 手	合 計
	教 員	助 手	計			
文化教養	6	0	6	37	0	43

大阪YMCA国際専門学校

	専 任			非常勤 講 師	任期制 助 手	合 計
	教 員	助 手	計			
ビジネス専門課程	3	0	3	17	0	20
国際高等課程	19	1	20	47	2	69
外国語専門課程	10	0	10	57	12	79
教育社会福祉専門課程	1	1	2	11	0	13
計	33	2	35	132	14	181

大阪YMCAインターナショナルスクール

	専 任			非常勤 講 師	任期制 助 手	合 計
	教 員	助 手	計			
文化教養	17	4	21	2	0	23

(3) 職 員

区分	専任職員	兼務職員	合 計
YMCA学院高等学校	8	3	11
大阪YMCA学院	6	0	6
大阪YMCA国際専門学校	13	5	18
大阪YMCAインターナショナルスクール	7	2	9
合 計	34	10	44

2 事業の概要

1 事業の概況

時代に即した教育、時代と社会の変化を見通した教育を展開するため、学校法人大阪YMCAは大阪YMCAの他法人と連携して、長期的なVISIONを10年単位で策定しています。

そのVISION2020の4年目を迎えて、学校法人は時代が求める教育を探求するため、また現状の教育の課題に応えるため、学校の枠を超えた事業運営を進め、選択と集中を行うことで効率化を推進しました。すなわち、留学生を対象とした「留学生事業」、高校生世代を

対象とした「高校生事業」、語学教育及び国際学校を対象とした「語学国際事業」の3事業体制で教育内容の充実を図りました。そして、その事業別の一体的運営をより強化し、完成させる年度として取り組み、類似事業を一本化することによる効率化をはかりました。中でもYMCAのグローバルネットワークを生かし、語学国際事業が大きく伸長しました。

2 主な事業の目的・計画および進捗状況

(1) 高校生を対象とした諸事業の連携を強化し、生徒の持つ諸課題の解決を支援する

YMCA学院高等学校は、新入生対象にマイスペースコースを開設し、不登校経験のある生徒に対するきめ細かな指導を行いました。結果として新入生の増加と途中で退学する生徒が減少し、進級継続者数を増やしましたが、他校よりの転編入学者数が大幅に減少したことにより、生徒数を減らすこととなりました。

連携校については、千葉校を今年度3月末を持って閉鎖し、2年目を迎える東京校に集約しました。東京地域における生徒募集は、東京校を中心に展開していくこととしました。

大阪YMCA国際専門学校高等課程は、国際学科と表現・コミュニケーション学科の一体的な運営を目指してガバナンスを一本化し、双方の特徴を活かしながらスケールメリットをいかす運営を行いました。

表現・コミュニケーション学科では、サポートクラス（発達障害の児童を対象とした、週一回の学習サポート及びソーシャルスキルトレーニングのクラス）や総合教育センターとの連携をさらに強め、個々の生徒への高いカウンセリング機能や指導体制を持ち、生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境の整備をさらに進めました。

2012年1月に開設した中学生J-IVYは、順調に生徒数を確保し、発達障がいや不登校に課題を持つ中学生にふさわしい学びの場として、各中学校とも連携を深めてまいりました。次年度より中学校に戻ることができるようになった生徒も増えてきており、ある程度の教育効果がでてきました。

国際学科はカリキュラムや教員体制を大幅に見直し、生徒のケア等に対する体制を厚くし、構造的な改革を行ったことにより退学者を大幅に減らすことができました。また、今年度も大阪府の実践的英語教育支援校に選ばれ、英語教育の特色を推し進める環境がさらに整いました。

2014年度は、国際学科のカリキュラム改訂のため、募集を行いませんでしたが、2・3年生を中心として活気のある学校として再生できてきています。

(2) 日本語学科とビジネス専門課程が協力し、留学生、特に東アジア地域の青年育成に取り組む

留学生を受入れている大阪YMCA国際専門学校語学・ビジネス専門課程、日本語学科、大阪YMCA学院日本語学科は、「留学生事業部」として一体的な運営を行いました。

政治的な問題等の影響、欧米の留学生誘致や日本国内の大学への直接入学増加等により、中国・韓国の募集は苦戦していますが、大阪YMCA学院実用日本語コースや大阪YMCA

国際専門学校語学・ビジネス専門課程のインターンシップコースは評価を得て好調でした。

大阪YMCA国際専門学校 語学・ビジネス専門課程では、職業実践専門課程としての認定を受け、次年度より、産官学連携によるより充実した指導体制で学生支援に取り組む準備ができ、留学生の日本における就労支援を進めることができました。また、その一環として在阪の一流ホテルと協働して進めているホテルインターンシッププログラムは、日本人学生と共に東アジアの各国留学生の育成の場になりました。英米語専攻科や国際ビジネス科においては、教育内容のさらなる充実に向けて改善に着手しました。

(3) 日本人への外国語教育、外国人居住者・家族への日本語教育支援事業を進め、多文化社会の形成に寄与する

語学事業は教育の質をより向上させるために取り組んでいる指導体制の強化、カリキュラム、指導方法の再整備が効果を上げています。

とりわけ大阪YMCA学院の日本語学科は、実用日本語クラスを中心に多国籍の留学生が入学してきており、過去最高の学生数を確保しました。留学生のほか家族滞在ビザ、配偶者ビザ、宗教ビザなどで在阪している外国人受講者のニーズに大きく応えることができました。

インターナショナルスクールは、中津南小学校に移転し、施設環境が充実したことも影響し、児童数が増加しました。また、IBの認定も受け、インターナショナルスクールとしての評価が大きく伸張したことにより、各国の大使館・領事館からの問い合わせも増えてきました。

3 財務の概要

■ 平成26年度決算の概要

①【資金収支計算書】

(1) 収入の部

高校生事業において、高等学校では、退学者数の減少における継続率の向上により、生徒数の維持、増加を図りましたが、他校からの転編入者の減少によって生徒数を減らし、収入が減少しました。しかし、高等課程において健闘し、収入予算を達成することができました。留学生事業において、一体運営の効果により、前年度より収入増となり、語学国際事業においては、順調に推移し、全体として収入予算を達成することができました。

(2) 支出の部

事業の一体化や効率化により、事業経費や広報費等を抑えることに努め、ある程度の支出削減は出来ましたが、施設設備の老朽化やIT関連の支出により支出は増える結果となりました。また、土佐堀館のエレベータ改修工事を行い、大規模な支出が発生しました。

③【消費収支計算書】

(1) 消費収入の部

高校生事業において、高等学校では、退学者数の減少における継続率の向上により、生徒数の維持、増加を図りましたが、他校からの転編入者の減少によって生徒数を減らし、収入が減少しましたが、高等課程において健闘し、収入予算を達成することができました。留学生事業において、一体運営の効果により、前年度より収入増となり、語学国際事業においては、順調に推移し、全体として収入予算を達成することができました。

(2) 消費支出の部

事業の一体化や効率化により、事業経費や広報費等を抑えることに努め、ある程度の支出削減は出来ましたが、施設設備の老朽化やIT関連の支出により支出は増える結果となりました。

④【貸借対照表】

(1) 資産の部

固定資産はエレベータ工事等により固定資産が増額しました。事業も好調で流動資産も増額となりました。

(2) 負債の部

日本私立学校振興・共済事業団よりエレベータ工事にともなう84,200,000円の長期借入を行いました。

(3) 基本金の部

1号基本金繰り入れにより29,300,000円増額となりました。

(4) 消費収支差額の部

学院高校を除くすべてに事業が順調で収入が大幅に増加しましたが、減価償却費等の支出も増加しているので、結果として当年度消費支出超過額は53,741,845円となりました。

4 今後の課題

昨今の厳しい経済状況の中、私立学校を取り巻く経営環境は大きく変化しています。そして、公立高等学校の授業料無償化はその変化をより大きなものにしています。安定的な学校経営を行うために、教育内容をさらに充実させ、すべての学生・生徒にとって魅力的な学校作りが必要です。

大阪YMCAは全体として広範囲な視点でVISION2020を策定し、時代と社会の課題の把握とそれらの解決に取り組むことに努めています。学校法人においても、社会全体とともに多様化する教育ニーズを把握し、そのニーズに対応するための変革に努めています。

中期計画では、グローバル人材を育成することを明確にして事業展開を行い、語学国際事業及び留学生事業に重点をおいた展開を行っています。

高校生事業にも多くの外国籍の生徒が入学してきており、学校法人全体で600名を超える児童・生徒・学生が全日制の学校に在籍しています。学校として多様化した児童・生徒・学生に対応できる仕組みを作ることが求められており、さまざまな場面で児童・学生・生徒を支援する取り組みのより一層の充実が求められています。

これからの教育界で、YMCAが対象としている多国籍な年齢層の学生・生徒にとって、何をなすべきかを考え、さらなるカリキュラムの充実と教職員のレベルアップによって、対応を継続して行っていきます。

監 査 報 告 書

2015年5月15日

学校法人 大阪YMCA

理事長 末 岡 祥 弘 殿

監 事

水口 美里

監 事

文 字 文 男

監 事

萩原 義明

私たちは、学校法人大阪YMCAの2014年度（2014年4月1日より2015年3月31日まで）
の財産の状況につき監査を行いました。

監査の結果、計算書類に記載された内容は、正確かつ妥当なものであり、

また、理事の業務執行は法令および寄付行為に従って、誠実に行われている

ものと認めます。

以 上